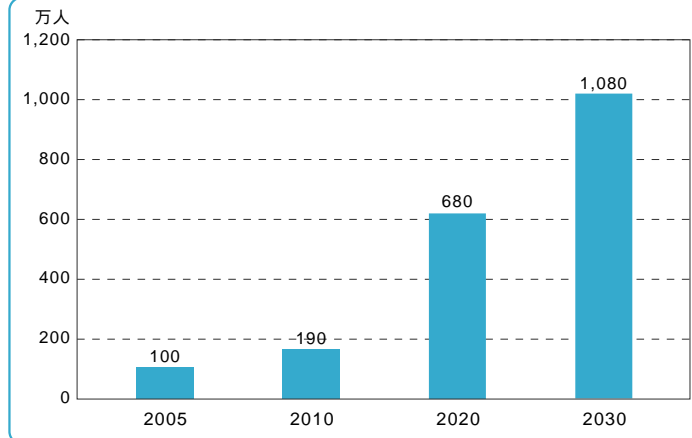


施策 1

農山村地域をフィールドに ニュー・ライフステージやまなし

二地域住居入口の将来イメージ



国土交通省「二地域住居」の意識とその戦略的支援策の構想(図用編)

○都市と農山村との交流
本県は、首都圏にありながら、豊かな自然、おいしい水、地域固有の歴史・文化、四季折々の農村風景など、多彩な観光資源に恵まれています。こうした魅力を

○グリーンカフェの開設
平成十八年度には、東京日本橋にある本県の観光や物産の情報発信拠点



グリーンカフェが開設される「富士の国やまなし館」



田舎暮らし体験ツアー

○田舎暮らし志向
都市に暮らす人々の中で、「もっと気軽に農村に行きたい」「田や畑で農作業をしてみたい」といった、田舎暮らしに対するニーズが急増しています。また、都市と農山村地域の双方で暮らす「二地域居住」を望む人が増える」と予測されるなか、特に田舎暮らし志向が強いと



森林の枝打ち体験

「富士の国やまなし館」に、農林業体験から二地域居住や定住までを視野に入れた、グリーンツーリズム全般の相談窓口(グリーンカフェ)を開設し、農林業体験メニューをはじめ、農山村にある空き家、遊休農地、スポーツ施設など、農山村地域での活動に必要な情報を提供していきます。
水と空気の時代といわれる「二十一世紀にふさわしい」「森の国・水の国やまなし」に、都市に暮らす多くの人々が訪れ、心を癒し、安らぎを得られるよう、積極的に取り組んでいきます。

特集2:山梨ならではの魅力を活かした新たな観光施策

観光立県「富士の国やまなし」

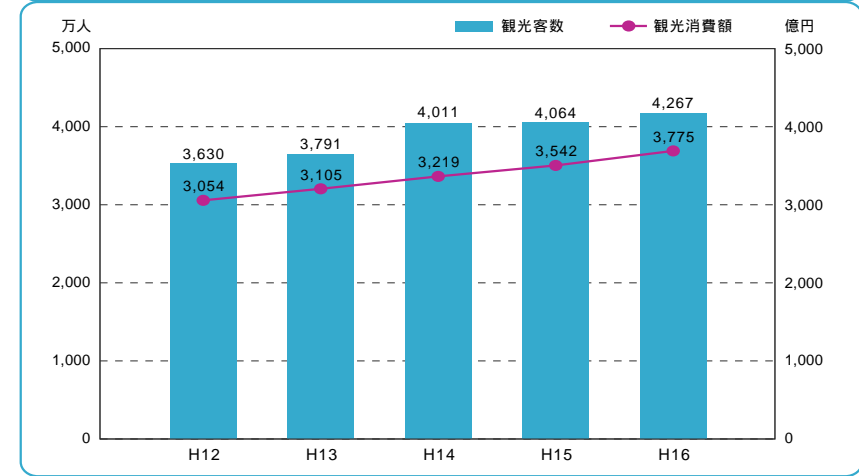


中国からの観光交流団団長(左)と偉国家旅遊局長に富士山の写真を贈る山本知事

観光産業は、旅行業のみならず、農業・林業、運輸、宿泊、飲食など幅広い産業に関連し、裾野が広く経済的波及効果の大きい産業です。

県では、観光振興を通じて県内産業全体を活性化させるため、観光立県「富士の国やまなし」を目標に掲げ、積極的な観光振興策を展開しています。

山梨県の観光動向



資料:「山梨県観光客動態調査」山梨県観光部観光企画課

施策 3

自然や文化をいっくしみ体験する
エコツーリズムの推進

観光客のニーズが、単に名所旧跡などを見て回る旅行から、地域の人々と交流しながら、その地域でなければ得られない貴重な体験をし、学び、楽しむ体験型の旅行へと変わってきています。

こうした動きを背景として、観光客にいつまでも愛される魅力的な観光地として発展していくためには、地域の人々が協働し、自然や景観、歴史・文化など、そこにしかない「地

○地域資源の保全と活用



自然を学び体験する(青木ヶ原樹海エコツアー)



地域の景観づくり(清里朝日ヶ丘景観委員会)

域らしさ「や」さまざまな資源」の保全に努めながら、多様な体験プログラムや環境に配慮したサービスを提供する「エコツーリズム」を推進する必要があります。

○富士山北麓モデル地区の取り組み

エコツーリズム推進のため平成十八年度に国がモデル地区に指定した富士山北麓地域では、地元の市町村や関係団体などで構成する推進協議会を中心に、富士山の豊かな自然や富士講などの歴

史・文化の保全と活用策、またこうした資源をガイドするエコツアープログラムの開発、さらに環境に配慮したサービスの在り方など、エコツーリズムを推進する方策について検討を進めています。

昨年秋には、環境省とともに富士吉田市内において第一回「エコツーリズムセミナー」などを開催し、全国から関係者を迎え、情報発信を行ったところです。

平成十八年度は、エコツーリズム推進方策の基本計画を取りまとめるとともに、検討の成果を実践に結びつけるため、モデル的なエコツアーを観光関係者などに紹介する体験イベントなどを予定しています。

○全県的なエコツーリズムの展開に向けて

富士山北麓地域でのモデル的なエコツーリズムを全県的に普及定着させるためには、コーディネーターやエコツアーガイドなど各地域で率先して取り組む人材が必要です。このため、県内各地域から



地域の歴史を学ぶ(富士吉田市「御師の家」)

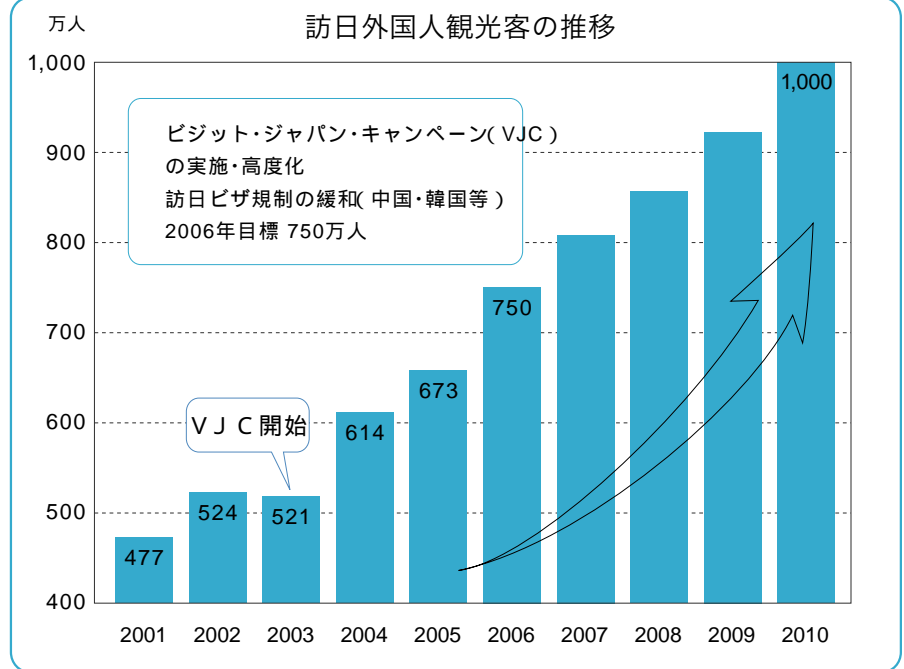
の参加を得ながら、推進リーダーの養成講座やガイドの研修を行っています。

本県には、その地域ならではの特色を活かした体験活動を提供している事業者や団体が数多くあり、こうした方々と連携を深めながら訪れる皆さんが満足するエコツーリズムの全県的な展開に向けた取り組みを進めていきます。

施策 2

新たな国際観光交流の鼓動
外国人観光客が集う「富士の国やまなし」

2010年訪日外国人観光客1000万人を目指して



○ターゲットは東アジア

二〇一〇年までに、訪日外国人観光客を一〇〇〇万人にすることを目標とした、国の「ビジット・ジャパン・キャンペーン」に呼応し、県では、経済的成長が著しい東アジアからの観光客を誘致するため、積極的な取り組みを行っています。

○海外への魅力発信

本県の魅力を東アジアの皆さんに伝え、来県していただくため、韓国、台湾、中国などで開催される国際観光展などに参加するほか、これらの国々の旅行関係者などを本県に招いてのPRや県内観光事業者との商談会開催などの取り組みを行っています。

○中国への重点宣伝

中国では、急速な経済発展を背景として、海外旅行を希望する方が増えています。また、日本への団体観光ビザの発給対象地域が昨年から全土に拡大されるなど、中国からの観光客は、今後大幅な増加が見込まれることから、県では特に重点的な宣伝を展開しています。

平成十七年度には、中国の観光大臣にあたる邵偉国家旅遊局長を団長とする観光交流団二〇人が本県を訪れた際、知事と局長との会談や、団員と市町村、観光関係者と



観光キャラバン隊による中国旅行会社への売り込み



韓国国際観光展への出展

の交流セミナーを開催し、相互の理解を深めました。また、平成十七年度に中国主要都市へ派遣した観光キャラバン隊を、平成十八年度は、本県と友好関係にある四川省にも送り、現地の旅行会社などへの売り込みを行うこととしています。

今年、日本と中国の観光交流をさらに発展させることを目的とした「日中観光交流年」でもあることから、県では、四川省から中高生を招いて県内の中高生との交流を行うとともに、同行する中国報道関係者を通じて中国国内への情報発信を図るという、新たな取り組みも計画しています。